

豊畑和進

平成30年 6月29日 No. 8

『プール開き』を、行いました！！

今年はどれくらい泳げるかな？！

6月26日（火）に、プール開きを行いました（既にHPでは、写真を公開しています）。各学年が、今年目標を発表し、その後に、いよいよ実際にプールに入りました。1年生と6年生ペア、2年生と5年生ペア、3年生・4年生は独自に、今年最初のプールを体感しました。1年生は、小学校生活最初のプールに、大きな歓声をあげていました。また2年生以上も、「去年の記録を超えるぞ」という意欲が全身から溢れていました。



読書賞受賞者紹介 (6 / 28 まで)

6年生	20名	合計	20枚
5年生	8名	合計	10枚
4年生	2名	合計	4枚
3年生	5名	合計	6枚
2年生	3名	合計	3枚
1年生	2名	合計	2枚

豊畑地区には、豊畑音頭があります！！

毎年運動会で、高学年児童と一緒に地域の皆さんも「豊畑音頭」を踊ってくださっています。踊りの指導は、大塚原の川口さんです。その豊畑音頭について、貴重な資料を頂きました。記載は、泉川地区出身の、林修さんです。原文のまま、転載します。

豊畑音頭の復元について

○ 音頭誕生のきっかけ

当時、地区民は復興へのエネルギーを盛り上げ、ロマンと志を立てようと懸命であった。その中で、何よりも力強いことは、純粋な子供たちと、この地の人々の誠実な結びあいの気風であった。

○ 音頭に込められた願い

この音頭は、戦後間もない昭和21年に豊畑小学校の教頭であった鈴木武先生・若手教師であった藤代弘一先生が、戦争で傷つきなえた子どもたちと地区の人々の安らぎを思い、宿直室で互いに酒（どぶろく）を酌み交わしながら、夜遅くまでかかって作られた情熱と英知の結晶である。

○ うけた豊畑音頭

出来上がってから間もなくして、同時に振り付けされた踊りと一緒に秋の大運動会で大運動会で披露され、大評判となった。その後、各地域ごとの盆踊りや婦人会活動などで取り入れられ、豊畑地区民のための音頭として徐々に根づき広まっていった。

○ 豊かさに忘れられて

世の中が平和になり、生活が豊かになってきた昭和の終わりごろから、この音頭はまったく姿を消してしまい、歌詞はおろか、メロディさえも豊畑地区の人々から忘れ去られようとしている。

○ 復元の動機

このような事態を見るにつけ、豊畑地区に残されたこの素晴らしい文化をこの地方の歴史に残しておかなければとの憂いがつのり、ここに歌詞とメロディを復元させたものである。

歌詞については、藤代先生に見て頂いたところ、後世に残すのであれば、・・・との要望があったので、一部修正した。また、メロディについては、先生のご理解を得て、勝手ながら前奏をつけさせていただいた。

今後、この音頭が、豊畑地区民の誇る文化のひとつとして、いつまでも歌い、踊り続けていられることを心から期待している。

平成12年4月吉日 林 修（豊畑地区泉川出身）

豊畑音頭

- 1 新川土手に 春くれば すみれ たんぽぽ 咲き競い
釣り糸たれる 人もある 豊畑よいとこ ソレサよいとこ 花盛り
- 2 早苗取る娘に 運ぶ子に 植える笑顔に 夏の風
飛び交うつばめも 宙返り 豊畑よいとこ ソレサよいとこ 皆笑顔
- 3 うちわ片手に 涼み台 取れたスイカに 舌つづみ
笑う一家に 福が来る 豊畑よいとこ ソレサよいとこ 福が来る
- 4 井戸野 川口 泉川 大塚原も 駒込も
黄金花咲く 稲の波 豊畑よいとこ ソレサよいとこ 稲の波
- 5 太平洋の 波の音 川の流れも たえやせぬ
豊かに広い この田畑 豊畑よいとこ ソレサよいとこ 栄え行く